

《メディア文化論》

◆ 会 場 ◆ 山口県立大学北キャンパス B202 教室

◆ 講 師 ◆ 国際文化学部 教授 吉本 秀子

◆ 講座内容 ◆ 4 時限目 (14 : 40~16 : 10)

回	日程	テ ー マ	内 容
1	4/9(火)	メディア文化研究への招待	メディアとは何か。メディア文化とは何か。講義内容の説明。前半は基礎理論編、中盤は歴史事例編、後半は同時代編とする。
2	4/16(火)	基礎理論編 ① 「送り手レベル」の分析	マス・コミュニケーション研究の基本的分析スタンスを紹介。その第1回は規範理論を概説し、政治とメディアの関係を考える。
3	4/23(火)	基礎理論編 ② 「メディア・レベル」の分析	マス・コミュニケーション研究の中核となるメディア組織とコンテンツ分析についての代表的研究を紹介する。
4	5/14(火)	基礎理論編 ③ 「受け手レベル」の分析	マス・メディア効果論の歴史的な流れと、盛んに行われているオーディエンス（受け手）レベルの研究について紹介する。
5	5/21(火)	歴史事例編 ① 米国ジャーナリズムの思想的背景	米国新聞史を概観し、「言論の自由」に関する思想的起源と 20 世紀における新聞の大衆化がもたらした影響について考える。
6	5/28(火)	歴史事例編 ② 明治における国際化と日本新聞史	日本における新聞史を概観し、特に日露戦争報道の例をもとに、当時の国際情勢と国際報道の関係を考察する。
7	6/4(火)	歴史事例編 ③ 第二次世界大戦における新聞・ラジオ・映画	満州事変から第二次世界大戦に至るまでの日米新聞報道を比較し、戦時の日米相互の「敵」のイメージがいかに形成されたかを探る。
8	6/11(火)	歴史事例編 ④ 国際連合の理想、ユネスコの挑戦	第二次世界大戦の経験をふまえて設立された国際連合が、平和構築の理想をどのように掲げ、どのように「挫折」したか。
9	6/18(火)	歴史事例編 ⑤ ベトナム戦争とテレビ・ジャーナリズム	ベトナム戦争をお茶の間に届けたテレビの役割を考察し、東西冷戦における「情報」の役割を探る。
10	6/25(火)	歴史事例編 ⑥ 90年代の民族紛争と国際世論	「民族」がキーワードになる 90 年代以降の国際報道の特徴を理解し、現在におけるメディアの役割を探る。
11	7/2(火)	歴史事例編 ⑦ 9.11 報道とテロリズム	9.11 報道とイラク戦争報道を例に、21 世紀における国際ジャーナリズムの問題点と課題を探る。
12	7/9(火)	同時代編 ① ＜国際交流＞交換留学生と日本のアニメーションを見る	日本文化を象徴となっているアニメ・マンガ。交換留学生と一緒に日本のアニメーションを見てメディア文化を考える。
13	7/16(火)	同時代編 ② 広報文化外交とソフトパワー	東京オリンピックも世界遺産も日本のソフトパワー戦略の一部である。日米の例を中心に「ソフトパワー」の光と影を考察する
14	7/23(火)	同時代編 ③ ソーシャルメディア時代のフェイク・ニュース	SNS 空間にとびかう「フェイク・ニュース」が問題になっている。ネットメディア時代における「事実」とは何かを考える。
15	7/30(火)	学生によるプレゼンテーションとレポート提出・意見交換	これまでの講義をふまえて、自分なりの「メディア文化論」を文章で表現し、口頭で発表する。

※会場・日程等変更になる場合があります。